

# 森林計画学会 2015 年度総会

日時：2015 年 3 月 29 日(日) 9:00~12:00

場所：北海道大学（農学部 N11）

## 次第

- 1) 学会長挨拶
- 2) 議長選出
- 3) 議事

### （報告事項）

1. 2014 年度事業報告（美濃羽）
2. 2014 年度会計決算報告（田中）
3. 2014 年度会計監査報告（田中）
4. 2015 年度事業計画案（美濃羽）
5. 2015 年度会計予算案（田中）
6. 各委員会等報告
  - (1) 企画運営委員会（松村）
  - (2) 和文誌編集委員会（和口）
  - (3) 英文誌編集委員会（長島）
  - (4) 表彰委員会（平田）
  - (5) 広報委員会（齋藤）

### （審議事項）

1. 学生会員の登録方法の変更等について
2. 名誉会員の推薦について
3. 学会 HP, メール用レンタルサーバの契約変更について
4. 学会誌のカラー印刷代の変更について
5. 正会員の会費の変更について

- 4) 議長解任・閉会

## ○2014 年度事業報告

1. 春季シンポジウムおよび総会を大宮ソニックシティにおいて開催した（3 月 30 日）。
2. 夏期セミナーを台湾・韓国との国際共同シンポジウムとして、韓国・ソウル大学等にて開催した（5 月 28 日~30 日）。
2. 「森林計画・計測における統計理論の応用に係わる若手研究集会」を、統計数理研究所にて開催した（12 月 6 日~7 日）。
3. 学会誌（和文誌 48 巻 1 号）を発行した。
4. 学会ニュースを発行した（2014 年度 1 号~10 号）。
5. 日本農学会に参加し、役員として評議員・白石則彦氏が参画した。
6. JABEE（日本技術者教育認定機構）に運営委員として白石則彦氏が参画した。
7. 森林・木材・環境アカデミーに参加した。
8. 2014 年度森林計画学会賞の選考を行った。

### 【森林計画学賞】

受賞者：細田和男（森林総合研究所）

受賞業績：標準地法における調査区の大きさと形状の再検討

発表媒体：日本森林学会誌 94(3)（2012 年）

### 【黒岩菊郎記念研究奨励賞】

受賞者：北原文章（森林総合研究所）

受賞業績：Evaluation of data quality in Japanese National Forest Inventory

発表媒体：Environmental Monitoring and Assessment 159（2009 年）

### 【南雲秀次郎記念学生奨励賞】

該当者なし

9. 関連する研究集会・シンポジウムを共催した。

Forest Resource Management and Mathematical Modeling - FORMATH ROPPONGI 2015 -を開催した  
(3月7日～8日)

10. 理事会の開催

常任理事会を1回、また、常任理事のうち関西地区の委員による会議を2回、また、必要に応じて地区理事を含めたメールによる審議を行い、本会の運営に関わる重要事項を審議した。

11. その他

・会員名簿の整理

これまで学会には、事務局が管理する会員名簿と会計が管理する会員名簿の2種類が存在し、更新や内容が不整合であった。そこで2014年度から会員名簿を一元化した。また、学会費を3年以上未納している会員が多く存在したことから、未納者の確認、会費の徴収を行った結果、正会員数が135名(3/23現在)であることが確認された。また、同様に学生会員についても確認を行ったところ、昨年度までは41名となっていたが、現在は6名であることが確認された。

・メールアドレスの整理

これまで学会連絡用のメールアドレスとして、森林総研内のメールアドレスが利用されてきた。しかし、現在HPを運営しているレンタルサーバでは、メールアドレスも作成することができるため、学会用のメールアドレスとして以下のアドレスを新設した。

事務局連絡用：jsfp\_office@shinrinkeikaku.org

和文誌投稿用：jsfp\_j@shinrinkeikaku.org

英文誌投稿用：jsfp\_e@shinrinkeikaku.org

## ○2015年度事業計画案

1. 春季シンポジウムおよび総会を北海道大学において開催する(3月29日)。
2. 林業経済学会、森林利用学会、森林計画学会合同企画を行う(4月～6月)
3. 台湾・韓国との国際共同シンポジウムとして、台湾(嘉義市)にて開催する(8月31日～9月4日)
4. 学会誌(和文誌48巻2号、49巻1号・2号、英文誌Vol.20, No.1・No.2)を発行する。
5. 学会ニュースを発行する。
6. 学会ホームページを管理運営する。
7. 2015年度森林計画学会賞を選考する。
8. JABEE(日本技術者教育認定機構)に対応する。
9. 森林・木材・環境アカデミーに対応する。
10. 日本農学会に参画する。
11. 学会プロジェクトを推進する。
12. 関連する研究集会・シンポジウムなどを支援する。

### 【審議事項】

#### 1. 学生会員の登録方法の変更について

現在、森林計画学会の全会員数は以前に比べ少なく、特に学生会員がほとんどいない(現在6名)。しかし、学生会員は無料(平成23年度より、ただし冊子体の送付は希望者のみ。現在2名に送付)なので、もっと入ってもらおうよう働きかける。また、現在、学会員になるには異動連絡表を提出する必要があるが、学生会員に限ってはもう少し簡易な手続(メールやHPで簡単に登録できる、など)で会員になれるようにする。

#### 2. 名誉会員の推薦について

高橋教夫元会長以前について、会長を務め、かつ退職された会員を名誉会員として推薦する。

推薦する名誉会員

箕輪光博氏、西川匡英氏、内藤健司氏、高橋教夫氏

会則第3条より「名誉会員は本会の発展に関して特別な功績があった者として理事会が推薦し、

総会において認められた者とする。」

### 3. 学会 HP, メール用レンタルサーバの契約変更について

これまで学会のメールニュースは、農林水産研究総合情報センターのメーリングリスト (ML) を利用していたため、ML の運営は森林総研職員が担当してきた。しかし、現在、学会はホームページ用にサーバをレンタルしており、そのサーバを活用すれば、ML の運営は森林総研職員でなくてもよくなり人選の幅が広がる。そこで、現在契約しているサーバ内に会員 ML を作成したいが、会員 ML については現在の契約内容では作れないため、契約変更を以下のように変更する。

さくらレンタルサーバ：ライトプラン (129 円/月額) からスタンダードプラン (515 円/月額 (12 ヶ月払いで 5,142 円)) へ変更。

### 4. 学会誌のカラー印刷代の変更について

#### ・提案の経緯

昨今、GIS やリモセン等、カラー画像を多く使う論文が増えているが、カラー料金が高いとより安い学科誌へ投稿することが考えられる。現在、森林計画学会への論文投稿が少なく、また、多くの方により投稿していただくことを踏まえ、カラー印刷代を以下のように変更する。また、それに伴って、投稿規程も以下のように変更する。

#### ・変更案

現行：カラーページがある場合は、カラー 1 ページにつき印刷費 20,000 円 (実費) を徴収する。

変更：カラーページ代は徴収しない。

(ただし、余り意味のないカラー印刷 (単色のみのカラーを使ったグラフや表など) は抑止する必要があるため、担当編集委員や編集委員会が審査や校正の段階でチェックすることとする)

#### ・投稿規程

現行：カラー印刷希望の場合についても、著者の実費負担とする。

改訂：投稿規程より上記の文言を削除

### 5. 正会員の会費の変更について

#### ・提案の経緯

2007 年に学会費を 5,000 円から 8,000 円に値上げした。当時は、年間 100 万ほどの赤字が計上され続ける状態であったため、学会費の値上げは必要であった。しかし、現在、学会には 700 万程度の繰越金が発生しており、このまま学会費が 8,000 円の場合、毎年繰越金が増え続ける状態となる。そこで、学会会計が健全となるよう事務局で試算したところ、学会費 5,000 円であっても収支に問題ない結果となったため (詳細は別添資料)、以下のように学会費を変更する。また、それに伴って、会則も以下のように変更する。

#### ・変更案

現行：カラーページがある場合は、カラー 1 ページにつき印刷費 20,000 円 (実費) を徴収する。

変更：カラーページ代は徴収しない。

#### ・会則

##### 第 9 条 (会費)

現行：1. 正会員の会費は年額 8,000 円とする。

改訂：1. 正会員の会費は年額 5,000 円とする。